



福祉施設の合同チーム「夢ふれあい隊」として参加

天草ほんど ハイヤ祭り

道中総踊り
2024年9月28日(土)

「ヨイサー♪ヨイサー♪サッサヨイヨイ♪」

天草の歴史と文化を象徴する祭り「ハイヤ道中総踊り」。
粋な踊り手達と、沿道の観客達でまちは祭り一色となりました。
ハイヤの祭囃子に合わせて、参加された利用者さんも楽しく、格
好よく、元気に一生懸命に踊りました！



愛藍フェスタ2024年出展報告

生活支援員 松本 成美

8月24～25日に天草地区文化展「愛藍フェスタ」が開催されました。例年「愛藍ピック（運動会）」が開催されていましたが、年々利用者様の重度・高齢化に伴い実施が困難な状況となったため、天草地区の施設協会にて代替を検討し、この度「愛藍フェスタ（文化展）」に変更となりました。

南海寮を含め天草地区の9施設の利用者様が日頃の活動に於いて取り組まれたアートや制作品の展示と物品販売が行われました。

南海寮からは貼り絵や折り鶴を活用したるま、絵画等10点の作品を展示しました。他の施設も様々なジャンルでそれぞれの感性や思いを込めた作品が出展されていました。

ご来場くださった人の中には「いろんなアイデアがありますね」「よく似ていますね（似顔絵）」とお声掛けを頂きました。

2日間と短い期間ではありましたが多くの方々にご来場頂き、利用者様も沢山見学に来られ、事業所毎の作品を見ながら交流も生まれ、とても良いイベントとなりました。



～ 参加された方の感想 ～

- < Mさん >
・名刺交換をして知り合いが出来る事の大切さを改めて知りました。
・交流会にたくさんの方が参加している事に驚きました。参加された方の未来、夢などを聞いて良かったです。また参加してみたいです。
- < Hさん >
・ダウン症の友達に会えてうれしかったです。
・太鼓の演奏がとても上手でした。
- < Tさん >
・Yさんのいびきで眠れなかったけど、ホテルの食事や途中で食べたお好み焼きが美味しかったです。
・交流会の抽選会が当たらずに悔しかったです。
- < Yさん >
・いろいろな人と名刺交換や、話が出来て楽しかったです。
・お好み焼きと帰りのジョイフルが美味しかったです。

九州地区地域生活者交流会に参加して

生活支援員 松下ひかる

7月13～14日、ガーデンテラス佐賀ホテル&リゾートにて利用者さんと支援スタッフが参加する交流会があり、南海寮からもグループホームの入居者さん4名とスタッフ2名が参加してきました。

全体会では「今頑張っている事」や「これから頑張る事」をテーマに各県代表の利用者様が立派に発表されていました。

交流会では会食をしながら、名刺交換や抽選会が行われ、利用者さんと一緒に楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

参加された利用者さんに感想を書いていただいたので紹介します。



Life At Nankairyo

2024.8~10

県内一泊旅行（松島・御船）9月3~4日

松島のリゾラテラスではキャンドル作り体験。御船恐竜博物館では迫力ある展示物に大興奮！



天草ハイヤ祭り 9月28日

毎年恒例のハイヤ祭り！ 皆さん張り切って ハイヤハイヤ〜♪



日々の様子 (ドライブ、外食、日中活動 etc.)

ドライブや外食も楽しみの一つ！ 日中の活動もそれぞれがんばっていま～す



県外一泊旅行 (鹿児島島) 9月25~26日

鹿児島まで足を延ばし、水族館や動物園を楽しんできました～



Topic 01

地域連携推進会議



介護分野では運営推進会議の設置と開催がすでに義務付けられています。今年度の報酬改定より、障害分野でも同じような機能を持つ『地域連携推進会議』の設置と開催が令和7年度以降義務化されます（令和6年度は努力義務）。

入所施設は居住や生活の場でありながら、閉鎖的で事業運営が不透明になりやすいと指摘されています。そのため地域の関係者を含む外部の目を入れること、事業運営の透明性を高め、一定の質の

確保に繋げていくことが必要であるとの指摘がなされ今回の改定となりました。他にも施設と地域との関係づくりや障害の理解の促進等、会議体の目的はいくつかあります。当法人でも今年度は努力義務ではありますが、地域連携推進員として利用者様、利用者様のご家族、地域の関係者の方へお願いして8月に開催いたしました。

初めての会議ということもあり、まずは施設を知っていただく目的で施設見学や事業内容、利用

者様、職員の紹介等を中心にご説明させていただきました。推進員の方で中には初めて施設内を見学された方もいらっしゃいました。今回の会議をきっかけに施設を知っていただくことはもちろんですが、地域との関係づくりや交流、地域課題に対し社会福祉法人として少しでも力になれるように今後も地域との連携強化に努めてまいります。

Topic 02

熊本学園大学ソーシャルワーク実習

～24日間の実習を通して学んだこと～

熊本学園大学 社会福祉学部第一部社会福祉学科 竹森裕高

今回のソーシャルワーク実習は、利用者さんと関係形成が出来るのかとても不安な中スタートしたのを覚えています。初めの頃はコミュニケーションがうまくいかず不安に加え、焦りも感じていました。しかし実習指導者の方や支援員の方からアドバイスをいただき、毎日声かけをしていると徐々に話が弾むようになり、利用者さんから声をかけてくださることも増えてきました。

ある通所の利用者さんは、実習初日の頃は声をかけても反応が薄かったのですが、一緒に過ごす時間が増えると、徐々に関係が深まり私と一緒に昼食を食べたいと、

食わずに待っていてくださるようになりました。利用者さんとコミュニケーションをとる上で、その人の性格や障害特性に合わせた関わり方はもちろん、リラックス出来るような環境や時間設定が重要である事を学びました。また相手の事を深く知る為には、まず自分の事を分かってもらう必要があると感じました。

実習期間中は検討会議やサービス担当者会議など様々な会議にも参加させていただきました。そこでは日頃から顔の見える関係づくり、そして利用者さんを中心に意見し

あえる関係性が大切である事を学びました。

今回、実習の中で様々な経験をさせていただき、自分の苦手な事や不足している事に気付く事ができました。それを踏まえ、これからの大学での学びや日常生活を通して向き合っていこうと思います。



あいむだより

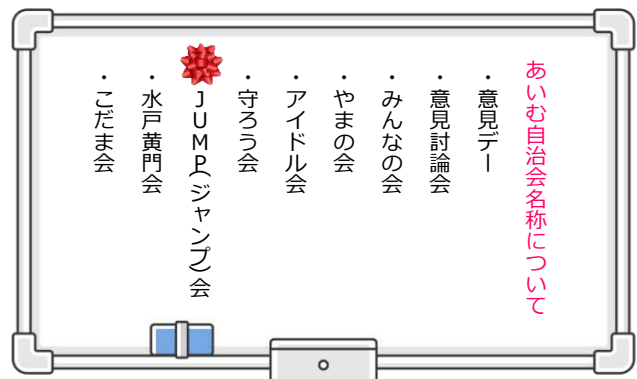
あいむ自治会の名称がついに決定!

「通所センターあいむ」開設以来、「あいむ自治会」という名称で定期的に自治会を開催しています。今回の自治会では、皆さんにより親しみある会とする為、キャッチーな名称を決めようと話し合いを行いました。

各テーブルで職員も入り、話し合いの時間を設けたところ、9個の候補名が出て来ました。その名前の意味もさまざま、数日前の一泊旅行で山に頑張って登った(乗り越えた)から、「山の会」だったり、意見を出し合えるような会にしたいから「意見討論会」だったり…と、みなさん意味を込めて考えてくださっていました。

皆さんに名前と名前の理由等を紹介した後、多数決を行い「JUMP(ジャンプ)会」に決定しました。名前だけ聞くと自治会とはすぐに連想はされないと思いますが、意味がとっても良いんです。

この名前を提案したのは M さんなのですが、M さんは毎回ライブへ行かれるほどの Hey! Say! JUMP ファン。そこから JUMP(ジャンプ)と来ているのですが、「みんなで上に上に上昇できるように!」という意味との事。この意味に、共感された方が多くいました。これから、皆さんと上に上に上昇していけるような会を目指していきたいと思います。



社会福祉法人啓友会 地域貢献事業

グラウンド・ゴルフ大会 なんかいカップ開催

- 日時/令和6年11月16日(土) 午前8時15分～ ●場所/南海寮グラウンド
- 対象/本町のグラウンド・ゴルフ愛好家の皆様(本町ご出身、関係者、所縁のある方も大歓迎です。)

なんかい

南海寮広報委員会

- ご高覧いただき、ご意見・ご感想などありましたら keiyukai@cup.ocn.ne.jp までお寄せください。
- 広報誌「なんかい」はホームページ <http://www.nankairyuu.or.jp/> からもお覧いただけます。